



なみ き

埼玉県議会議員

並木 まさとし

無所属
県民会議
SAITAMA



発行者
連絡先

埼玉県議会議員 並木正年
〒365-0038 鴻巣市本町 3-2-19-B
TEL 541-7777 / FAX 543-8000

日頃の活動は
ホームページで!

並木まさとし

検索

namikimasatoshi@soleil.ocn.ne.jp



「空き家」の現状を考える

昭和 23 年から 5 年ごとに住宅と土地の保有状況や世帯の居住実態を調査する「**住宅・土地統計調査**」が実施されています。

平成 30 年の調査では、県内の住宅約 338 万戸のうち、空き家は約 34.6 万戸（空き家率 10.2%）で、全国平均の 13.0%と比較すると、全国一空き家率が低い県となっています。

平成 25 年の調査と比較すると、土地や住宅価格・豊かな環境等を理由とした都内からの転入が続いたことで、空き家戸数は 9 千戸、空き家率は 0.7%減少しています。

しかし、利用目的のない「**その他の空き家**」は約 1.2 万戸、空き家率は 0.3%増加しており、自治体別の「**空き家数**」は人口と住宅が多い「さいたま市」や「川口市」で多く、「**率**」では寄居町や秩父市で増加しています。

「その他の空き家」は火災や犯罪など周辺への影響が大きく、地域の活力低下も懸念されるため、「売りたい人・貸したい人」と「買いたい人・借りたい人」をつなぐ「**空き家バンク**」の登録促進や住宅の維持管理に向けた相続相談への支援体制を拡充することが重要です。

県では相続に詳しい専門家（行政書士や司法書士）を自治会の集会や高齢者サロンに無料で派遣する対話形式の講座を用意していますので、詳しくは私の事務所までお問い合わせください。

空き家とは…①賃貸用住宅（アパートの部屋等）・②売却用住宅・③二次的住宅（別荘など）・④その他の住宅（①～③以外の理由）で人が住んでいない住宅に分けられます

県内空き家の内訳

①賃貸用住宅（57.6%）・②売却用住宅（4.4%）・③二次的住宅（2.1%）・④その他の住宅（35.8%）

都道府県別 その他の住宅・空き家「数」・その他の住宅・空き家「率」

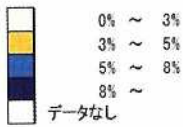
全国順位	1	2	3	4	5	埼玉県
空き家 数	大阪府 20.9 万戸	東京都 18.0 万戸	北海道 15.7 万戸	兵庫県 15.1 万戸	神奈川県 14.7 万戸	9 位/47 12.4 万戸
空き家 率	高知県 12.8%	鹿児島県 12.0%	和歌山県 11.2%	島根県 10.6%	徳島県 10.3%	45 位/47 3.7%

県内市町村別 その他の住宅・空き家「数」・その他の住宅・空き家「率」

県内順位	1	2	3	4	5	鴻巣市
空き家 数	さいたま市 1.8 万戸	川口市 9.0 千戸	熊谷市 5.1 千戸	川越市 4.0 千戸	所沢市 3.9 千戸	16 位/53 2.7 千戸
空き家 率	寄居町 11.7%	秩父市 10.9%	嵐山町 7.7%	本庄市 7.5%	小川町 7.0%	15 位/53 5.2%

県内のその他の住宅数は令和 15 年に約 34.6 万戸から約 84 万戸、率では 10.2%から 21.5%に増加すると予測されています

■ その他空き家率



その他の住宅・空き家率

他市の状況

*63 市町村中 53 自治体が調査対象

県内順位	率
24	北本市 4.3%
37	桶川市 3.2%
41	上尾市 2.9%
8	行田市 6.5%
23	加須市 4.3%
13	熊谷市 5.7%
39	さいたま市 3.0%
53	戸田市 0.9%
15	鴻巣市 5.2%



*住宅・土地統計調査は H27 年国勢調査時の人口 1.5 万人以上が対象のため小鹿野町やときがわ町など 10 自治体はデータなし

カーナビデータを活用した交通安全対策 ~危険箇所の解消に向けて~

埼玉県の道路交通状況は交通量が全国 4 位と多く、朝夕の混雑時の平均速度は全国ワースト 4 位、混雑度は最下位です。また、交通事故の発生状況は令和 3 年に 13.6 万件で死者数は 118 人と 6 番目に多い県です。

R3 年度末時点で県の管理道路総延長約 2,800 km のうち、歩道の整備延長は約 2,040 km (73.5%) で、今年度も 99 箇所です歩道の整備が進められる予定です。

交通事故の防止には、日頃から PTA や地域の防犯パトロール団体の方々に大変ご尽力をいただいておりますが、通学路など危険が潜んでいる箇所を事前に把握・特定することで、より交通安全対策の強化につながると思います。

県では県内に工場を構える本田技研工業「ホンダ」と平成 19 年に「道路交通データの提供に関する協定」を締結し、カーナビを活用した**事故発生箇所・急ブレーキ多発箇所(0.3G 以上)・みんなの書き込み情報**から安全対策を進めています。

このデータを活用して、路面舗装やポストコーンの設置、視界不良による植込みの剪定をおこなった 160 箇所の事業効果として 1 カ月間の急ブレーキ総数は 7 割減少、人身事故も 2 割減少しています。

ビッグデータを活用・共有し、自宅周辺や通学路などをチェックしてみたいはいかがでしょうか。

現在、狭山工場ではプレス・溶接・合成樹脂の一部の部品を生産しており、2022 年より完成車の生産を完成車工場（寄居町）・エンジン工場（小川町）へ集約しています。

みんなで作る安全マップ

Hondaは、すべての人が心から安心してどこへも自由に移動できる社会「Safety for Everyone」を目指して、事故に遭わない社会づくりに向けた取り組みを進めています。

そして、このSAFETY MAPは、あらかじめ危険な場所を知ること、実行者も、ドライバーも、ライダーも、より安心して生活できる世の中にしていきたいと願って始まったプロジェクトです。

Hondaのインターネットナビが集めた日本中を走るクルマの急ブレーキ情報と交通事故情報、そして、みなさんの声で地図がつけられます。



プロフィール
1970 年鴻巣市本町生まれ/鴻巣幼稚園/鴻巣東小学校/鴻巣中学校/埼玉栄高校(サッカー部)/亜細亜大学経済学部国際関係学科卒/セントラルワシントン大学AUAP課程修了/鴻巣幼稚園保護者会副会長/鴻巣東小PTA副会長/鴻巣市商工会青年部第31代部長/第8回このす花火大会代表/鴻巣市消防団第2分団員(24 年目)/鴻巣市議会議員 2 期/埼玉県議会議員 2 期目/福祉保健医療委員会/人材育成・文化・スポーツ振興特別委員/家族:妻・長女・長男・愛犬レオ

市民と歩む 新しい鴻巣

51歳 無所属

埼玉県議会議員

並木まさとし


 発行者
連絡先

 埼玉県議会議員 並木正年
〒365-0038 鴻巣市本町3-2-19-B
TEL.541-7777 / FAX.543-8000

並木まさとし

検索

namikimasatoshi@soleil.ocn.ne.jp

箕田地区 産業団地の整備状況

事業期間	令和元年度～令和6年度
総事業費	約52億円
令和4年度予算	約2億7,000万円

現在は立地企業の公募について検討中

川幅日本一「御成橋の4車線化」

並木まさとしの質疑

東松山市から吉見町、鴻巣市に至る県道東松山鴻巣線は、国道254号や国道407号に接続し、鴻巣市内では荒川を越えた御成橋東交差点で上尾道路と接続する予定である。現在、圏央道桶川北本インターチェンジから鴻巣市箕田交差点までは、国において、上尾道路二期工事9.1キロメートルの事業化により用地買収が進められており、県道東松山鴻巣線も整備を進める必要がある。

この路線の課題は、河川区域である2,537メートルの川幅日本一の荒川に架かる御成橋の4車線化であり、河川区域内の都市計画の変更や、長さ805メートルの橋りょう建設が挙げられる。令和2年9月定例会の一般質問において、道路構造の検討に必要な現況測量を実施することが答弁されたが、都市計画の変更に向けた進捗状況と今後の見通しについて、県土整備部長に問う。

県土整備部長の答弁

県道東松山鴻巣線は、東松山市内の国道254号、国道407号と鴻巣市内の国道17号を東西につなぐ幹線道路で、国が整備を進めている国道17号上尾道路とも接続する重要な路線です。

御質問の荒川河川区域内の4車線化について、まずは、鴻巣市と吉見町の行政境から上尾道路に接続する区間までの都市計画を一体的に変更する必要があります。

この都市計画の変更に向けては、県では、これまでに、現況測量や橋の構造の検討を行い、現在、既存の御成橋の上流側に2車線の新たな橋りょうを架設し、4車線化する計画で国と協議を進めております。今後は、橋りょうや道路の設計を進めるとともに、国などの関係機関との調整を図りながら、**4車線化に向けて鋭意取り組んでまいります。**

基準病床数の拡大と医師の確保を！

本県は人口10万人あたりの一般病床数・療養病床数が全国下位であり、医師数では全国最下位の状況です。、医療資源(病床数・医師数)の少なさからも病院のひっ迫や入院先の確保、手術の延期など一般医療への影響が大きいことから基準病床数の検討をおこなう必要性に迫られている時期だと思えます。

また、医師の確保については昨年の特別委員会で地域枠の奨学金貸与枠の拡大について取り上げ「医師確保のために医学生奨学金、臨床研修医、後期研修医の研修資金制度の拡充・地域枠の拡大に努めること」と意見提言をおこないました。医学部の総定員は厚労省の有識者会議「医師需要分科会」の議論を踏まえて決めており、2023年度から感染症科・救急科の優先枠が創設されるようですが、人口に応じた地域枠定員の拡大や新たな医学部の創設も必要だと思えます。

基本姿勢



駅頭活動は通算350回を達成!

顔が見える市政

「市民の目線に立った政治」を貫くために、政策決定は対話を重視して進め、市民が話しかけやすい市政を目指します。
これまで継続してきた駅頭活動などはこれからも続けます。

公平公正な市政

市政運営のうえで最も重要な「市民から信頼される政治」を貫くため、疑念の持たれない公平で公正な政治に徹します。
また、情報公開を徹底し、市民が主体の市政を目指します。

「賢く」「省く」市政

今後ますます市の財政が厳しくなることも想定されるなかで、「市民にとって真に必要な施策に注力する政治」への転換を進めます。
変えるべきところは大胆に変え、必要な施策には集中的に予算を投資します。

市民と歩む 新しい鴻巣をつくるための

「並木まさとし」と「市民の皆さん」との8つの約束

市民と歩む、新しい鴻巣をつくるための8つの約束。今後、市民の皆さんと対話を重ねていくことで、今まで以上に愛される鴻巣市をつくるための政策へとバージョンアップしていきたいと思えます。皆さんのご意見をお待ちしております。

つくる

「未来への投資」で
活力をつくる

子育て世代や市内産業への未来を見据えた投資を行います。

つなぐ

「地域・市・県・国」を
経験でつなぐ

これまでの経験を活かし、次の時代の鴻巣を市民とともにつくります。

まもる

「くらしの安心」を
全力でまもる

福祉と防災に注力することで、安心で安全なくらしを守り抜きます。

子育ての安心

をつくる



- ▶ 兄弟で別の保育園に通っている家庭などをサポートするため保育枠のさらなる充実と希望時期入園の整備
- ▶ 駅前保育ステーションなどにおける送迎費の負担軽減
- ▶ 多子世帯の学校給食費軽減補助事業の創設から子育て世帯を応援

地域と行政

をつなぐ



- ▶ 公園清掃などの報奨金制度を創設し、市民と地域力による世代間交流とシビックプライドの醸成
- ▶ ニーズの高い「道路改修と路面標示の更新」で快適な道路環境を整備
- ▶ 地域課題や要望を把握するための自治会や事業所訪問の実施

福祉の安心

をまもる



- ▶ 高齢者などの見守り支援による誰もが安心して暮らせる仕組みづくり
- ▶ 人生100年を豊かにするシニアの社会参加推進プランの策定
- ▶ 高齢者や障がい者の移動を確保するために「デマンド交通」等の運行拡大

教育先進都市

をつくる



- ▶ 学力・学習状況調査で県平均以上を目指し、データに基づく学力の底上げを実施
- ▶ 市独自で高校進学の際の「父母負担軽減」を県外校にも拡大し、子どもたちの進路選択を応援
- ▶ 子どもの発達に応じた「インクルーシブ教育システム」による教育の基礎的環境を整備



大野知事と市政と県政を“つなぐ”情報交換

市民の安全

をまもる



- ▶ 「カーナビ」を活用した急ブレーキ箇所や交通事故多発地点の把握による交通安全対策の推進
- ▶ 防犯パトロール団体などへの積極的な支援と人材(財)の育成
- ▶ 想定外を想定する災害対応力の構築と命を守るシナリオ作成の実施

まちの活力

をつくる



- ▶ 「観光資源の発掘と市民協働」による市民が中心となったまちの賑わいづくり
- ▶ 農業生産基盤を整備し加工品や製造品の「優良ブランド化の支援」による農業・産業の振興
- ▶ 公共施設への「ビルエネルギー管理システムの導入」など、気候変動に対応した環境に優しいまちづくり

鴻巣市を県・国

とつなぐ



- ▶ 荒川に架かる「御成橋」の4車線化による渋滞対策と緊急輸送道路の事業推進
- ▶ 上尾道路の接続市道に交通の利便性と安全性を確保
- ▶ 集中豪雨や台風などに対応するため国や県と緊密に連携をした治水対策と監視体制の強化

健全な財政

をまもる



- ▶ 地元企業への発注と購入の優先的推進による安定経営と雇用の維持・拡大
- ▶ 事業所との連携を強化した「ふるさと納税」収入増による財源の確保
- ▶ 市有未利用資産の保有・利活用・処分(ファシリティマネジメント)の推進

つくる・つなぐ・まもる 新しい街づくりを皆さんと一緒に!

地域の安全安心

埼玉県では、今年度で5回目となる通学路安全点検を実施。特に昨年6月に発生した千葉県八街市の交通死亡事故を受け、危険個所の安全対策を取り纏めた「第5期埼玉県通学路整備計画」が予定より1か月前倒しで策定されました。

この計画に基づき、1日も早く子どもたちを守る安全対策を進めて行く必要があり、以下の整備要望を一般質問で取上げました。

東松山石橋地内

南中学校から国道254号



川島町牛ヶ谷戸地内

山ヶ谷戸交差点から表交差点



吉見町下細谷地内

吉見町役場から東松山鴻巣線



河川整備も進めています



川島町下小見野地内

徒歩橋下流右岸堤防整備

ご意見・ご要望大募集!

みなさんの声を直接県政に反映させたいと考えております。苦情や批判、要望だけではなく建設的な意見、ご提案をお聞かせ下さい。



発行

無所属県民会議
埼玉県議会議員

松坂喜浩

〒355-0028 東松山市箭弓町3-3-13
TEL 0493-81-7638 FAX 0493-81-7663
E-mail matsuzaka@m4416.jp
ホームページ <https://www.m4416.jp/> (開設予定)
ブログ <https://ameblo.jp/m-yosshy/>



ホームページ



ブログ

無所属県民会議



埼玉県議会議員
まつざか
松坂よしひろ
県議会ジャーナル | 第27号
令和4年4月発行

特集 令和4年度当初予算審査ほか

議会報告

2月定例議会報告 (2月17日~3月25日)

令和4年度当初予算審査

直面する危機からの脱却、日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来像の実現

令和4年度一般会計予算を可決

→2兆2,284億5,900万円

令和3年度一般会計補正予算(14)(15)(16)を可決

→893億2,344万円

松坂よしひろが登壇 (一般質問項目から抜粋)



西第12区
(川島・吉見・東松山)

6月定例会は
6/17(金)開会予定



(撮影:松坂あずさ)

松坂よしひろが2月定例会で取上げた一般質問項目

- ① 地方創生と移住促進、空き家対策 (→P.3)
- ② がん対策 (→P.3)
- ③ 重度訪問介護の充実
- ④ 乳幼児医療費支給範囲の拡大
- ⑤ 発達障害児(者)への支援 (→P.3)
- ⑥ 障害者施設の感染防止対策
- ⑦ 食品衛生の重要性
- ⑧ 経営革新計画の更なる充実
- ⑨ 通学路の安全対策と市野川の治水対策 (→P.4)

2月定例議会報告 (2月17日～3月25日)

■ 知事から提出された議案は、予算41件、条例22件、工事契約の締結1件、事件議決6件、専決処分1件、基本的な計画の策定など11件、議員提出議案として意見書・決議12件です。

■ 令和4年度当初予算審査 → 新たな150年に向けて「日本一暮らしやすい埼玉へ」

■ 一般質問 → がん対策について・地方創生と移住促進・重度訪問介護の充実・発達障害児(者)への支援

■ 令和4年度一般会計予算、2兆2,284億5,900万円を可決

■ 令和3年度一般会計補正予算(14)(15)(16)、893億2,344万円を可決

昨年、埼玉県は誕生して150周年を迎え、今年から新たな150年に向けた挑戦の年度がスタートしました。今年度は「直面する危機からの脱却」、「日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来像の実現」の大きな2つの考えに基づいた施策を中心に埼玉県政が運営されていきます。

また、埼玉県の新たな5か年計画では、人口構造

が大きく変化する2040年を見据えて、本県が進むべき方向性として「安心・安全の追求」、「誰もが輝く社会」、「持続可能な成長」の3つを掲げています。

そして何よりも、私は政策の柱として「未来へ繋ぐ持続可能な郷土・いのちと暮らしを守る政治」を掲げ、引き続き誰もが生き生きと安心して暮らせる社会づくりに全力で取り組んでまいります。

令和4年度 重点施策 主要施策の構成



安心・安全の追求

- (1) 災害・危機に強い埼玉の構築
- (2) 県民の暮らしの安心確保
- (3) 介護・医療体制の充実



誰もが輝く社会

- (1) 子育てに希望が持てる社会の実現
- (2) 未来を創る子どもたちの育成
- (3) 人生100年時代を見据えたシニア活躍の推進
- (4) 誰もが活躍し共に生きる社会の実現
- (5) 支え合い魅力あふれる地域社会の構築

持続可能な成長

- (1) 未来を見据えた社会基盤の創造
- (2) 豊かな自然と共生する社会の実現
- (3) 稼げる力の向上
- (4) 儲かる農林業の推進



令和4年度当初予算 主な新規事業

◆ エssenシャルワーカーの処遇改善 135億5,639万円

看護師、保育士、幼稚園教諭、介護施設や障害福祉施設職員等の収入を上げるための支援。

・看護師 → 収入を1%程度引上げ、月額4,000円

・保育士、幼稚園教諭、障害福祉施設職員等、放課後児童支援員等 → 収入を3%程度引上げ、月額9,000円

◆ 救急・周産期医療への助成 6億8,000万円

新型コロナウイルス感染症患者の受入体制を継続し、救急等の医療提供体制を確保する医療機関を支援。

◆ 介護施設職員等の処遇改善 7,997百万円 79億9,700万円

介護施設職員等に、賃上げ効果が継続される取組みを行うことを前提とした処遇改善を支援。

がん対策について



がん治療の発達により、通院での治療をする患者が増えています。今後は経済的な問題や、生きる意欲を持ち続けるため仕事と治療の両立を支援することが必要です。すでに離職してしまった労働者が、再度就職しやすい環境整備が必要です。がん治療と就業に配慮し、新たにがん患者を雇用する事業所に対し、がん患者就労支援奨励金制度を創設することについて、産業労働部長に見解を伺います。



県では、平成30年度から「仕事と生活の両立支援相談窓口」を設置し、専門の相談員が、がんなどの治療と仕事との両立に悩む労働者や企業からの相談に対応しています。東京都の制度では、がん患者の方を週20時間以上で雇用した場合、1人あたり60万円を助成するもので、国の制度と趣旨を同じくするものです。新たな制度創設につきましては、今後、他の自治体の導入状況や県内企業の意向、課題などを調査し、がん患者の雇用継続や採用促進を施策の一つとして研究してまいります。

地方創生と移住促進



県内でも西北部においては高齢化や過疎化の進展により、地域社会の維持に深刻な影響が生じて来ることが推測されます。また、地域の活性化の観点からも、農村整備や定住の促進に資するとし、国は「優良田園住宅の建設の促進に関する法律」が制定されています。

この「優良田園住宅制度」は、地域の活性化や移住を促進して定住人口を増やす取組みとして活用できるのではないかと考えます。

制度の事業主体は市町村となりますが、県として制度の活用について、都市整備部長の見解を伺います。



「優良田園住宅制度」は、豊かな自然環境の中で健康的でゆとりある生活を送りたいとのニーズに応えられるよう、農山村地域などで優良な住宅の建設を後押しするものとして創設されました。

「優良田園住宅制度」を地域独自の取組に生かすことは、移住を希望する人を呼び込み、その後の定住を促し、地域の活性化に繋がるものと考えます。

県としましては、地域の実情を踏まえ制度を活用頂けるよう、今後、市町村から相談があった場合は、開発許可など関連する制度との調整が円滑に進むよう支援してまいります。

発達障害児(者)への支援



幼児期の子どもたちの発達は一人生り異なりますし、家庭環境も、一人っ子や兄弟姉妹がいる子、祖父母と同居されている子など様々です。

ここで大切なのが幼稚園や保育園に入園する前の段階における、子どもの特性への気付きです。

乳幼児健診として、1歳6か月児、3歳6か月児健診は受診率も高く、健診内容を見直すことで、発達障害のある子どものスクリーニングの場として有効に機能すると考えられます。

県内全ての保健センターにおいて、発達障害を早期発見し、切れ目のない支援につながる方策が必要であり、ガイドラインを設けることも重要と考えますが、福祉部長の見解を伺います。



発達障害は、早期に気付き、早期に適切な支援を行うことが大変重要です。

県では、平成23年度から全国に先駆けて、県内の全ての保育所・幼稚園・小学校の教員等を対象に、気付きに関する研修を計画的に実施し、令和2年度までに約2万人の方に受講頂いています。

また、県内の保健センターにおいて、発達障害に関する対応能力のレベルアップを図っていくためには、こうした研修などのほか、早期発見、相談、療養の場面ごとに重要なポイントをリアルな映像で学ぶことができる動画の作成が必要と考えます。

発達障害に関する専門家のご協力をいただき、研修動画の作成に着手し、早期発見、切れ目のない支援の充実につながるよう取り組んでまいります。

委員会報告 (地方創生・行財政改革特別委員会)

魅力ある地域づくりについて ~人口減少に対する今後の方向性

埼玉県の将来人口推計から令和30年には現在の726万人から650万人へ70万人に減少すると見込まれ、吉見町でも9千人減、川島町でも9千人減、東松山市でも1万人減となる推計値が出てくることから、更なる移住政策の実施が喫緊の課題となって来ます。私は、常に移住政策の重要性について各種政策提言を行っています。

松坂 質問
農ある暮らしは、農家事情や農地取得が出来ず、起農するまでの所得問題等課題が多いことからなかなか進まないのが現状です。市町村は手続きが煩雑で手を付けられないなど、地域的な偏在はあると思いますが、更に農ある暮らしを進めるためには、優良田園住宅制度と併せて進めて行くべきと考えます。

部長 答弁
優良田園住宅制度は、移住推進の有力なツールの一つと考えていますが、この制度がなかなか進まないことについて、農林部

として原因は把握していません。ただ、市町村任せでは、なかなか進まないのも事実であり、昨年県が主催した市町村移住定住者担当者会議において、飯能市の事例を報告するなど、他の市町村への周知を実施しました。その他にも、埼玉で始める農ある暮らしの手引きを作成し、市町村の移住担当者に配布致しました。優良田園住宅制度は、有効な手段とあると考えています。これからも各市町村と連携を取りながら、農ある暮らしの推進を進めていきます。

川島町の国道254号における歩道陥没事故

6月8日(水)午後2時半過ぎに、川島町内の国道254号の歩道において、荒川右岸流域下水道の下水道管の破損に起因すると思われる陥没が発生し、自転車で走行中の男性が転落する事故が発生してしまいました。まずは、転落し、負傷されました被害者の方にお見舞い申し上げます。埼玉県として早急な復旧と、同様の下水道管の緊急点検ですが、自然流下とは逆に汚水を圧送する下水管路では硫化水素が空气中に放散し、硫酸が生成され、圧送管路では10年を経たずに管が破損する事例も発生しています。



こうした事故を踏まえ、県内の同様の管路を調査したところ延長が3km、13個所の詳細調査が必要な箇所として判明したことから、路面下空洞化調査を9月末までに完了し、直ちに対策を講じて参ります。

ご意見・ご要望大募集!

みなさんの声を直接県政に反映させたいと考えております。苦情や批判、要望だけではなく建設的な意見、ご提案をお聞かせ下さい。



発行 無所属県民会議 埼玉県議会議員 **松坂喜浩**

〒355-0028 東松山市箭弓町3-3-13
TEL 0493-81-7638 FAX 0493-81-7663
E-mail matsuzaka@m4416.jp
ホームページ <https://matsu-yoshi.net/>
ブログ <https://ameblo.jp/m-yosshy/>




埼玉県議会議員 **松坂よしひろ** まつざか
県議会ジャーナル 第28号 令和4年8月発行
特集 令和4年度 一般会計補正予算 ほか

6月定例議会報告 令和4年度 一般会計補正予算(1急施)(2)(3)可決 委員会報告(地方創生・行財政改革特別委員会)




西第12区 (川島・吉見・東松山)
9月定例会は 9/22(木) 開会予定

埼玉県の新型コロナウイルス感染症対策

自宅療養者支援体制の強化

最大想定値: **54,000人**

保健所 (入院調整・要特別配慮者)	2,400人
協力医療機関 (有基礎疾患、軽症者)	3,600人
支援センター (無症状者等)	48,000人

- 保健所 → 派遣職員を200人以上配置
- 協力医療機関 → かかりつけ医による健康観察の実施(機関数 約900)
- 支援センター → 運営中の3拠点(南部・北部・東部)の体制強化

第6波を踏まえた対応

- 発生届におけるハーススの利用促進の働きかけ
- SMSによるファーストタッチの迅速化
- 陽性者の健康状態を早期に把握
- 配食サービス、療養証明書発行の窓口を一元化
- 電子申請を活用した上記サービス提供の迅速化
- 陽性者の利便性向上

有症状者の検査体制強化(診療・検査医療機関での診療を補完)

電子申請による検査キットの送付→検査キット陽性者の相談窓口で確定診断

- 有症状者(50歳未満で基礎疾患などを持たない方)が診療・検査医療機関での受診検査をすぐに予約できない場合など、県のホームページ上から検査キットを申し込み、自己検査が出来ます。(陽性結果が出た場合、検査結果をもって診療・検査医療機関・検査キット陽性者の相談窓口を受診)
- 申し込みから2日前後で自宅等に郵送します。
- 実施期間: 令和4年7月30日~(1日4,000個を上限)

※当該検査キットの配布は、自己検査結果の一定の期限内での県への報告を要件とする。

検査キット陽性者の相談窓口(オンライン診療)の活用

- 診療・検査医療機関の補完として検査キットで陽性となった方に対するスマートフォンによるオンライン診療を活用します(手持ちのキットでの陽性者も利用可)。右のQRコードからご利用いただけます。
- 7月17日・18日に緊急対応として試行的に実施、7月19日以降も当面の間、実施して行きます。



6月定例議会報告 (6月17日～7月7日)

- 知事から提出された議案は、予算2件、条例11件、専決処分1件、訴えの提起2件、人事案件2件。議員提出議案として意見書10件、請願2件です。
- コロナ禍における『原油価格・物価高騰等総合緊急対策』
- 令和4年度一般会計補正予算(1号)(2)(3)36億2,425万円を可決

新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づくまん延防止等重点措置が解除されてから約4か月が経過し、新型コロナウイルス感染症の新規陽性者数、確保病床利用率等は一時減少傾向となったものの、オミクロン変異ウイルス「BA.5」による第7波による感染者が急増し、感染防止対策の徹底を引き続きお願いせざるを得ない状況が続いております。

また、多くの県民皆様や事業者が依然として新型コロナウイルス感染症による様々な影響を受ける中、円安の進行、原油価格や物価の高騰など先行き不透明さが増しております。

感染拡大が長期化し、人流抑制のための緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などが延長されたことで、国内、県内の経済活動は深刻なものとなっております。

6月定例会に上程された補正予算(第1号急施)

は、原油価格や物価高騰の影響を受ける生活者に対する緊急支援として、食費や日用品などの物価高騰等に直面している低所得のひとり親世帯に対して児童一人につき5万円の生活支援特別給付金を支給等。

補正予算(第2・3号)は、国の補正予算等に迅速対応し、ウクライナ情勢等に伴う原油価格や物価の高騰による県民生活及び県経済活動への影響を最小限に留めるため、当面緊急に対応すべき事業をはじめ、脱炭素社会に向けた設備投資の促進のための経費等が計上されました。

また、6月2日及び3日の夕方に県北部や東部地域を中心に発生した降雹により、傷ついた農作物の生育回復に必要な飼料代、代替作や次期作に必要な種苗代等、そして損壊した農業用生産施設の復旧に要する経費への補助を早急に市町村と連携して行います。

TOPICS 河川整備の進捗について(市野川)

一級河川市野川は、令和元年の東日本台風により、天神橋観測所と慈雲寺橋観測所において氾濫危険水位を超え、周辺の住民に避難勧告が発令されたことがあり、治水安全度向上が急務であります。以前から治水上ネックとなっていた諏訪堰周辺において、新諏訪堰が完成。今後は、旧諏訪堰撤去を含めた関連河川整備の令和6年度完成を目指します。

この諏訪堰周辺整備が完成することにより、吉見町や新江川関連の川島町・東松山市の治水安全度が高まります。

撤去される旧諏訪堰



新設された諏訪堰



◆ 補正予算【第1号】【第2・3号急施】から主な事業を報告します。

事業名	金額(千円)	事業概要
子育て世帯生活支援特別給付金の支給	279,000 (1号補正)	食費等の物価等に直面する低所得のひとり親世帯に対し、児童1人当たり5万円の生活支援特別給付金を支給します。
学校給食費等の物価高騰に直面する保護者などへの支援	94,000 (2号補正)	保護者等の給食費等の負担増加を回避するため、県立及び私立の学校に対し、当面の間、給食費等の物価高騰相当額を補助します。
夏休み期間の子供の食事等を確保するための支援	81,000 (2号補正)	子供の居場所等の活動支援を通じて、給食が提供されない夏休み期間中に限り、各家庭における子供の食事等を確保するため、レトルトカレーやパックご飯等を提供します。
県内地域公共交通事業者への支援	429,000 (2号補正)	県内の乗合バス及びタクシー事業者の運行継続を支援するため、燃料費高騰の影響分を補助します。
県内観光関連事業者への支援	293,000 (2号補正)	県内の貸切バス事業者に対し、経営支援のための補助を行うとともに、バス利用の需要喚起を図るため、県内観光関連事業者が行うバスツアーに対し補助します。
県内中小企業等の資金繰りへの支援	70,000 (2号補正)	原油・原材料価格の高騰に対応するため、経営安定資金の緊急融資枠を拡大します。 (100億⇒300億)
県内畜産農家への支援	107,000 (2号補正)	県内畜産農家に対する経営支援のため、配合飼料価格のうち飼料メーカーの製造コスト上昇分の一部を補助します。
県内一般公衆浴場への支援	6,000 (2号補正)	県内一般公衆浴場に対する経営支援のため、燃料費高騰の影響分を補助します。
県内中小企業等の省エネ・再エネ設備投資への支援	381,000 (2号補正)	県内中小企業等におけるエネルギー使用量及びCO ₂ 排出量の削減を加速させるため、空調設備、ボイラー等の更新及び太陽光発電設備、蓄電池等の導入経費に対する補助を拡充します。
住宅の省エネ・再エネ設備投資への支援	294,000 (2号補正)	家庭におけるエネルギー使用量及びCO ₂ 排出量の削減を加速させるため、設備投資促進資金に、融資利率を従来より0.1%引き下げた「エネルギー対策特例」100億円を創設します。
県内施設園芸農家の省エネ転換への支援	430,000 (2号補正)	燃料費高騰の影響を受けにくい省エネ型施設園芸への転換を促進するため、県内施設園芸農家に対して、ヒートポンプなどの省エネ機器や資材の導入経費を補助します。
森林管理道の災害復旧	145,000 (2号補正)	令和元年東日本台風により被災した金山志賀坂線の災害復旧工事を追加で実施します。

地元と県をつなぐ

地元要望と政策要望を大野知事に提出

令和5年度予算要望として東松山市・吉見町・川島町からの地元要望と合わせて県政全般に関わる事項239項目、各地元要望191項目、合計430項目の政策要望を取纏め、大野知事に提出、実現に向けて努力してまいります。

無所属県民会議の柱

県民の命に直結する施策への重点投資

- 新たなフェーズに対応した新型コロナ医療体制
- 児童虐待防止対策の強化
- 産後うつ等や育児不安への支援
- 水害防止のための総合治水対策 など

子どもたちの将来を見据えた公教育の推進

- 県立中高一貫校の推進
- 教育DXの推進
- スクールカウンセラーの充実による相談体制の強化 など

誰ひとり取り残さない就業機会の提供

- コロナ失業への緊急対応
- ニートやひきこもりの自立支援
- 指定難病患者への就業支援体制の構築 など

東松山市、吉見町、川島町の提出した地元要望(抜粋)



- 原油価格や物価高騰等の影響を受ける中小企業・小規模事業者への支援について
- 乳幼児医療費支給範囲の更なる拡大について
- 交通安全施設(横断歩道と停止線)の早期整備について
- 一級河川市野川の河川改修事業の早期整備について
- 一級河川新江川・九十九川の早期整備について
- 一般国道254号東松山インター交差点・主要地方道深谷・東松山線整備について
- 県道大里久保田下青鳥線(古凍地内)信号機設置について
- 主要地方道鴻巣川島線の未改良区間の整備について
- 防災減災緊急対策事業 大沼(大)地区の整備について
- 川島インターチェンジ南側地区の開発支援について
- 一般県道平沼中老袋線(出丸)道路整備について
- 一般県道平沼中老袋線(飯島・伊草)歩道整備について
- 主要地方道日高・川島線道路整備促進について



ご意見・ご要望大募集!

現在も継続中の駅頭活動も、間もなく17年目。街頭活動からも沢山のご意見・ご要望を頂いています。みなさまの声、建設的なご意見、ご提案をお聞かせ下さい。直接県政に反映させたいと考えています。



発行

無所属県民会議
埼玉県議会議員 **松坂喜浩**

〒355-0028 東松山市箭弓町3-3-13
TEL 0493-81-7638 FAX 0493-81-7663
E-mail matsuzaka@m4416.jp
ホームページ <https://matsu-yoshi.net/>
ブログ <https://ameblo.jp/m-yosshy/>



無所属県民会議

埼玉県議会議員

まつざか

松坂よしひろ

県議会ジャーナル 第29号

令和4年11月発行

特集 9月定例議会報告 新型コロナウイルス感染症拡大防止 原油価格・物価高騰等総合緊急対策 ほか

議会報告

9月定例議会報告 (9月22日~10月14日)

令和4年度一般会計補正予算(4)を可決

- ◆ 1,765億1,218万9千円(過去最大規模)
- ◆ 新型コロナウイルス感染症拡大防止 原油価格・物価高騰等総合緊急対策

がん治療と就業の両立支援 地元と県をつなぐ

- ◆ 地元要望と政策要望を大野知事に提出

西第12区
(川島・吉見・東松山)

12月定例会は
12/2(金)開会予定

郷土の安心・安全に取り組んでいます

▶ 一級河川九十九川及び一級河川新江川は、令和元年東日本台風により堤防が決壊し、対策として排水機場及び調節池の整備が進められていました。しかし、今年の7月8日に発生した集中豪雨では、一級河川九十九川が越水、多くの市民が避難、家屋被害も発生してしまいました。今後、同様の事態が発生しないよう、河川整備の早期実現に向けて努めてまいります。



同様の事態が発生しないよう、河川整備の早期実現に向けて努めてまいります。

▶ 横断歩道・停止線の路面標示には経年劣化や摩耗等による視界困難箇所が非常に多く、自治会や住民の方々からも危険性を指摘する声や復元要望が多数寄せられています。私も危険箇所を調査し、順次改善を進めています(2箇所を抜粋)。



9月定例議会報告 (9月22日～10月14日)

- 知事から提出された議案は、予算2件、条例2件、訴えの提起1件、人事案件2件、請負契約の締結2件、同意1件。議員提出議案として条例改正1件、意見書5件、請願1件です。
- 『新型コロナウイルス感染症拡大防止、原油価格・物価高騰等総合緊急対策』
- 令和4年度一般会計補正予算(第4号) 1,765億1,218万9千円(過去最大規模)

9月定例会に上程された補正予算は、コロナ禍において長引く原油価格や物価高騰の影響により厳しい状況に置かれてる県民、県内事業者への支援や、新型コロナウイルス感染症の更なる感染拡大を見据えた医療提供体制等の確保・強化のための経費等が計上されました。

補正予算【第4号】から主な事業を報告します

原油価格・物価高騰等の影響を受ける事業者への緊急支援

- ◆ 福祉施設等の運営継続に対する支援 (21億8,972万8千円)
- ◆ トラック運送事業者の経営改善に対する支援 (35億3,534万7千円)
- ◆ 農業者の経営継続に対する支援 (10億8,859万4千円)
- ◆ 観光応援キャンペーンによる観光関連事業者への支援 (6億505万5千円)

原油価格・物価高騰等の影響を受ける生活困窮者等への緊急支援

- ◆ 生活困窮者の相談機会の拡充 (2,497万円)
- ◆ 自殺を思い悩む県民の相談体制の拡充 (2,404万6千円)
- ◆ ひきこもり支援の推進 (1,016万4千円)
- ◆ 生活福祉資金特例貸付の借受人の相談体制の拡充 (13億5,099万1千円)

新型コロナウイルス感染症の拡大防止

- ◆ ワクチン接種の推進 (75億230万8千円)
- ◆ 医療提供体制の確保・強化 (1,480億4,304万8千円)
- ◆ 感染不安を抱える妊婦への支援 (9,268万9千円)
- ◆ 福祉施設における感染拡大防止対策 (63億2,477万5千円)

原油価格・物価高騰等の影響を受けにくい経営体質・生活様式への転換を促す支援

- ◆ グリーン分野への進出に向けた中小企業の事業再構築等の支援 (2億1,357万円)
- ◆ キャリアチェンジの促進 (1億4,684万3千円)
- ◆ 海外での販路開拓に向けた支援 (1,000万円)
- ◆ 化学肥料の使用量低減に向けた支援 (2億5,057万7千円)
- ◆ 県産木材供給体制の構築 (4,900万円)
- ◆ 民間企業や地域等の連携による観光振興の取組支援 (5,084万円)
- ◆ 環境負荷の少ない自動車の普及推進 (7億5千円)
- ◆ 県営住宅や県営公園における省エネ・再エネの推進 (6,000万円)

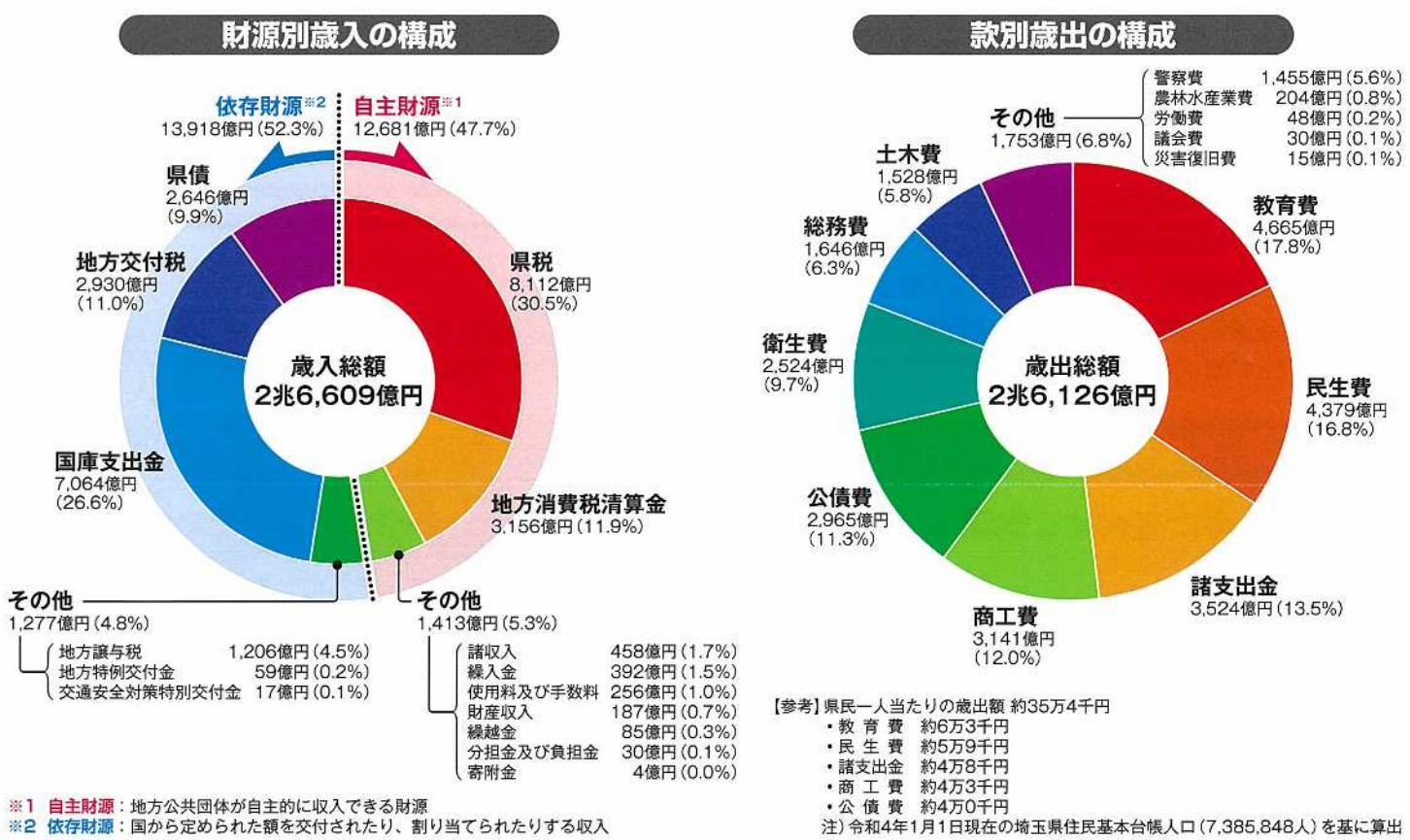
公共事業等の追加・適正工期の確保

- ◆ 公共事業の内定増等に伴う追加工事の実施 (17億4,971万8千円)
- ◆ 適正工期の確保(繰越明許費の設定) (44億3,270万円)

その他

- ◆ 地域医療介護総合確保基金の積立て (25億2,992万1千円)

令和3年度決算 歳入と再出の構成



がん治療と就業の両立支援

がんと共に生きるこれからの環境整備に向けて

がん治療の発達により通院での治療をする患者が増えています。しかし、「治療と仕事の両立は困難」との思いから、がんと診断された労働者の約35%が依願退職、あるいは解雇されています。

経済的な問題や生きる意欲を持ち続けるため、がんと闘いながら就業し続けることができる環境づくり、また離職してしまった場合でも再度就職しやすい環境整備で、仕事と治療の両立を支援することが必要です。

埼玉県では、平成30年度から「仕事と生活の両立支援相談窓口」を設置し、専門の相談員が、がんなどの治療と仕事の両立に悩む労働者や企業からの相談に応じています。

また、国では「治療と仕事の両立支援助成金」制度を設け、がんなどの傷病を抱える労働者のために、病状や治療内容に応じた職場環境の整備を行っ

た企業に対して1人当たり20万円の助成を行っています。

県としては、さらにもう一步踏み込んで『がん治療と就業の両立に配慮した、新たながん患者を雇用する事業所に対するがん患者就労支援奨励金制度』を創設することが必要と考えます。

東京都の例では、がん患者を新規に雇用した事業者に奨励金を支給するなど、事業者への支援により再就職に向けた諸施策が行われています。例として、がん患者の方を週20時間以上で雇用した場合、1人当たり60万円を助成するもので、国の制度と趣旨を同じくしています。

私の提案により、今後県として他の自治体の導入状況や県内企業の意向、課題などを調査し、がん患者の雇用継続や採用促進の施策の一つとして研究していく予定です。

未来に繋ぐ、持続可能な郷土

「命」を守る政治を基本に置き、地域の活力を高める総合政策で豊かな郷土を創ります。

安定した保険・医療・福祉制度

埼玉県の高齢者増加率は全国1位、介護人材の確保、医師不足地域への医師派遣、予防医療(がん検診)の推進、安定した保険・医療・福祉制度等の確立に努めます。



安全・安心な埼玉

個人住宅の耐震化支援と防火対応設備の普及促進、震災に強い公共施設整備促進、令和元年台風19号被害の教訓から河川災害の防止対策。



産業・農業の振興で活力あるまちづくり

産業の振興がまちの活性化に繋がります。また、農業の担い手不足も深刻な課題です。県内経済の更なる発展や、誰もが活躍できる社会づくりに力を入れます。



教育の充実と子育ての支援

未来を担うすべての子どもたちがよりよい環境で、育つことができるよう、教育の充実に一層力を入れます。



改革のさらなる推進

市議会ほど身近でなく、国会ほど関心を持たれない県議会、県民感覚とズレを無くし、開かれた議会となるよう引き続き改革に力を入れます。



松坂よしひろプロフィール

1960年(昭和35年)9月27日生まれ
高坂幼稚園、東松山市立高坂小学校、南中学校、埼玉県立滑川高等学校卒業、中央工学校土木建設科卒業

99年・03年・07年 東松山市議選挙3期連続
トップ当選

東松山市議会議員長等を歴任

10年 東松山市長選挙に立候補し、貴重な
10,191票を得ながら次点で落選

11年 東松山市議選挙4期目トップ当選

14年 東松山市長選挙に再挑戦、14,989票
を頂くも一歩及ばず落選

15年 埼玉県議会議員選挙に立候補し、
貴重な17,557票を頂きトップで初当選

19年 埼玉県議会議員選挙にて無投票で再選
議会運営委員会副委員長等を歴任

現在、東松山市商工会長、高坂土地改良区副
理事長、滑川総合高校同窓会会長、NPO法人
比企フィルムコミッション代表理事
(元)高坂小学校PTA会長、(元)高坂サカ
スポーツ少年団父母会長、(元)東松山市商工会
高坂支部長、(元)東松山法人会青年部会長

身長169cm、体重65kgくらい、A型

趣味：ランニング

アルトサックスを少々

特技：大好物のすいか栽培



昨年で3回目の
東京マラソンも
完走です



埼玉県議会議員 **まつざか 松坂よしひろ**

県議会ジャーナル 第30号 令和5年1月発行

特集 **12月定例議会報告** 令和4年度一般会計補正予算(5)(6)委員会報告 ほか

議会報告

12月定例議会報告 (12月2日~12月22日)

令和4年度一般会計補正予算(5)(6)を可決
244億4,338万2千円

◆物価高騰等に掛かる事業者・県民への緊急支援 ほか
主な事業を抜粋

委員会報告

◆新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
◆警察危機管理防災委員会



西第12区
(川島・吉見・東松山)

2月定例会は
2/20(月)開会



令和5年 川島町消防出初め式



令和5年も大野知事と地域の課題解決に取り組みます

令和5年の幕が開け、皆さまにおかれましてはご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。
昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が3年目に入り、加えてウクライナ情勢、燃料や物価高騰による県経済への影響、個人の生活への影響をいかに食い止めるかに力を注いだ1年でありました。
まだまだ、予断を許さない状況ではありますが、今年重点目標として、「県民の命に直結する施策への重点投資」、「子どもたちの将来を見据えた公教育の推進」、「誰一人取り残さない就業機会の提供」等をしっかり取り組んでまいります。

今年も皆さまの負託とご期待に添うべく、皆さまの声を最優先に、地域の課題解決に鋭意努力し、更なる住民福祉の向上に努めて参りますので、本年も宜しく願い申し上げます。

埼玉県議会議員 松坂よしひろ



ご意見・ご要望大募集!

現在も継続中の街頭活動も、間もなく17年目。街頭活動からも沢山のご意見・ご要望を頂いています。みなさまの声、建設的なご意見、ご提案をお聞かせ下さい。直接県政に反映させたいと考えています。

発行 無所属県民会議 埼玉県議会議員 **松坂喜浩**

〒355-0028 東松山市箭弓町3-3-13
TEL 0493-81-7638 FAX 0493-81-7663
E-mail matsuzaka@m4416.jp
ホームページ <https://matsu-yoshi.net/>
ブログ <https://ameblo.jp/m-yosshy/>



12月定例議会報告 (12月2日～12月22日)

■ 知事から提出された議案は、補正予算8件(追加1件)、条例4件、その他18件、議員提出議案として条例1件、意見書4件、令和3年度決算の認定です。

■ 令和4年度一般会計補正予算(5)(6)244億4,338万2千円を可決

12月定例会で審査された補正予算では、長期化するエネルギー価格や物価の高騰等の影響により厳しい状況におかれてる事業者、県民への更なる支援や、脱炭素社会に向けた設備導入の追加支援に向けた取り組みについての編成となりました。

特に、住民の足となる県内の乗合バス及びタクシー事業者に対して、運航の継続を支援するための燃料費高騰の影響分を更に補助するとともに、病院や診療所、調剤薬局などの医療機関が負担する光熱

費等の激変を緩和するため、緊急的措置として補助されます。

また、令和2年度に県が創設した当初3年間無利子・保証料ゼロの制度融資、いわゆる「ゼロゼロ融資」の無利子期間が終了することなどにより資金繰りが厳しくなる中小企業等の借換えなどを支援するため、金融機関による伴走支援を受け経営改善を図る伴走支援型経営改善資金の融資枠を200億円から400億円に拡大をし、中小企業支援を図ります。

補正予算【第5号】の主な事業(抜粋)

エネルギー価格・物価高騰等の影響を受ける事業者・県民への緊急支援

◆ 県内地域公共交通事業者に対する支援	4億7,230万円
◆ 県内医療機関への支援	38億3,670万円
◆ 県内中小企業等の資金繰りへの支援、債務負担行為の設定	5億8,000万円
◆ 企業の価格転嫁に向けた環境整備	2,534万7千円
◆ 県産農産物販売促進キャンペーンを通じた農業者支援及び家計負担軽減	2億660万3千円
◆ 母子父子寡婦福祉資金貸付事業に係る費用の追加	6,589万7千円

脱炭素社会に向けた省エネ・再エネ設備導入の促進

◆ 省エネ・再エネ設備導入に向けた県内中小企業等に対する支援	10億3,127万6千円
--------------------------------	--------------

公共事業等の施工時期の平準化・適正工期の確保

◆ 県有施設エレベーター改修事業	4,378万6千円
◆ 県立高校大規模改修事業等	37億5,575万3千円
◆ 工業用水道施設・水道施設修繕事業等	8億3,467万2千円
◆ 適正工期の確保(繰越明許費の設定)	146億8,307万8千円

補正予算【第6号】の主な事業(抜粋)

妊娠期から出産・子育てまでの一貫した支援

◆ 妊婦や子育て家庭に対する支援	87億4,533万4千円
------------------	--------------

子供の安心・安全対策の強化

◆ 幼稚園等の送迎時における事故防止対策	14億9,006万円
----------------------	------------

エネルギー価格・物価高騰等の影響を受ける事業者への支援

◆ 県内福祉施設に対する支援	7億9,188万1千円
◆ 観光応援キャンペーンによる観光関連事業者への支援	18億8,915万3千円

委員会報告

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

ワクチン接種の状況と対応について

松坂
質問

低年齢児へのワクチン接種について、感染よりも副作用を心配して接種を拒む声があるが、埼玉県としての対応を伺う。

松坂
質問

低年齢児のワクチン接種について、「デメリットを理解してもらう」ことについて、どのようなことが考えられるか。

部長
答弁

低年齢児のワクチン接種については、日本小児科学会が「小児へのコロナワクチン接種3を推奨する」とした考え方を表明している。国も乳幼児や小児へのワクチン接種を推奨している。これらを踏まえ、県としても乳幼児や小児への接種を推奨する立場である。他方で、日本小児科学会は、「小児への新型コロナワクチン接種には、保護者や本人にメリットとデメリットを十分理解していただくことが重要である。」としている。こうしたことから、保護者等が正しい判断ができるよう、県としても引き続き、正しい情報をしっかり伝えていきたい。

部長
答弁

生後6ヵ月から1歳までの乳幼児については、機嫌が悪くなる、食欲が落ちる、眠たくなる、といったものが挙げられている。デメリットとして、このような副反応があることについてしっかり理解していただいたうえで、接種によって発症予防効果や重症化予防効果など、それを上回るメリットがあるということをしかり周知していくことが重要と考える。

児童生徒へマスク着用の指導について

松坂
質問

国では、児童生徒が活動場面や活動場所に応じたメリハリのあるマスクの着用が行われるようにと打ち出されてるが、県としての指導方法を伺いたい。

を行うなど、活動場所や場面に応じたメリハリのある着脱を行うこととしている。

そのため、マスクの着脱に関するリーフレットを作成するとともに、市町村教育委員会に対して、これらを活用し児童生徒や保護者の理解促進を図り、適切なマスクの着脱が行われるよう周知をしているところである。

部長
答弁

県では、国の考え方と同様に、体育の授業や徒歩や自転車による登下校の際など、マスクの着用が不要な場面では積極的に外す指導

警察危機管理防災委員会

盛土による災害の防止に向けた対応

松坂
質問

県は、危険が確認された盛土が所在する市町村で地域防災計画や避難情報の発令基準等の見直しが必要になった場合に、適切な助言や支援を行うとしているが、市町村への具体的な支援について伺う。

備えるため計画にどう位置付けていくかについて助言できると考えている。

災害時には気象情報やインフラの被災情報などの情報が危機管理部に集約されることから、市町村が避難指示の発表を迷うような場合、これらの情報共有しながら、市町村が県民の命を守るための避難行動の後押しできるものと考えている。

部長
答弁

県は、各市町村からの求めに応じて、市町村地域防災計画の記載内容についての助言を行っているところであるが、盛土による災害に

県政に 声が届く

今の県政を伝えたい

10/23(日)・30(日) 県政報告会開催のご案内

仲秋の候、皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、日頃より松坂よしひろの政治活動に対しまして、多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さてこの度、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期となっていました第6回「県政報告会」を下

記のとおり開催する運びとなりました。「安全・安心なまちづくり」「人口減少社会に対する取組み」「健康長寿社会への取組み」を主なテーマとし、さらに意見交換会も予定しています。

つきましては、時節柄ご多用のことと存じますが、皆様お誘い合わせの上、ご来席賜ります様、ご案内申し上げます。

地区	高坂・唐子・野本地区	松山・平野・大岡地区
日時	令和4年10月23日(日) 受付開始：午後5時30分 開会：午後6時	令和4年10月30日(日) 受付開始：午後6時 開会：午後6時30分
場所	野本コミュニティセンター 東松山市下野本1157-1	東松山市総合会館 4階多目的ホール 東松山市松葉町1-2-3
お問い合わせ	松坂よしひろ事務所 TEL:0493(81)7638 FAX:0493(81)7663	



東松山市や県政等について

「地域の声」

リサーチシート

みなさんのご意見やご要望、
県政に対するお考えをお聞かせください。

埼玉県議会議員

松坂よしひろ

まつざか

■東松山事務所

〒355-0028 東松山市箭弓町3-3-13
TEL 0493-81-7638 FAX 0493-81-7663
E-mail matsuzaka@m4416.jp
ホームページ <https://matsu-yoshi.net/>
ブログ <https://ameblo.jp/m-yosshy/>

ホームページ



内容

要望

質問

提案

ご意見一般

その他

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

●情報・ご意見ご提供者

ふりがな	ご住所 〒
お名前	
お電話	

※ 政務活動との時間的兼ね合いから、返事にお時間を頂戴することもございます。何卒ご了承ください。

座談会・ミニ集会も開催しています！

数人がお集まりいただけましたら座談会・ミニ集会にお伺いします。質問や要望、県政への提言など、皆さまと共に考え、お答えいたします。お気軽に事務所へご連絡ください。

各駅での駅頭懇談(高坂・東松山・森林公園)でも！

質問・要望・提言・相談など、何でもお聞かせいただいています。遠慮なくお声がけください。

県政に 声が届く

今の県政を伝えたい

11/20(日) 県政報告会開催のご案内

晩秋の候、皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、日頃より松坂よしひろの政治活動に対しまして、多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さてこの度、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期となっていました第6回「県政報告会」を下

記のとおり開催する運びとなりました。「安全・安心なまちづくり」「人口減少社会に対する取組み」「健康長寿社会への取組み」を主なテーマとし、さらに意見交換会も予定しています。

つきましては、時節柄ご多用のことと存じますが、皆様お誘い合わせの上、ご来席賜ります様、ご案内申し上げます。

日時	令和4年11月20日(日) 受付開始：午後4時 開会：午後4時30分
場所	川島町コミュニティセンター 会議室1・2 川島町大字下八ツ林927 TEL：049(297)1611
お問い合わせ	松坂よしひろ事務所 TEL：0493(81)7638 FAX：0493(81)7663



川島町や県政等について

「地域の声」

リサーチシート

みなさんのご意見やご要望、
県政に対するお考えをお聞かせください。

埼玉県議会議員

まつざか
松坂よしひろ

■東松山事務所

〒355-0028 東松山市箭弓町3-3-13
TEL 0493-81-7638 FAX 0493-81-7663
E-mail matsuzaka@m4416.jp
ホームページ <https://matsu-yoshi.net/>
ブログ <https://ameblo.jp/m-yosshy/>

ホームページ



内容

要望

質問

提案

ご意見一般

その他

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

●情報・ご意見ご提供者

ふりがな	ご住所 〒
お名前	
お電話	

※ 政務活動との時間的兼ね合いから、返事にお時間を頂戴することもあります。何卒ご了承ください。

座談会・ミニ集会も開催しています！

数人がお集まりいただけましたら座談会・ミニ集会にお伺いします。質問や要望、県政への提言など、皆さまと共に考え、お答えいたします。お気軽に事務所へご連絡ください。

各駅での駅頭懇談(高坂・東松山・森林公園)でも！

質問・要望・提言・相談など、何でもお聞かせいただいています。遠慮なくお声がけください。

県政に 声が届く

今の県政を伝えたい

11/27(日) 県政報告会開催のご案内

晩秋の候、皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、日頃より松坂よしひろの政治活動に対しまして、多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さてこの度、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期となっていました第6回「県政報告会」を下

記のとおり開催する運びとなりました。「安全・安心なまちづくり」「人口減少社会に対する取組み」「健康長寿社会への取組み」を主なテーマとし、さらに意見交換会も予定しています。

つきましては、時節柄ご多用のことと存じますが、皆様お誘い合わせの上、ご来席賜ります様、ご案内申し上げます。

日時	令和4年11月27日(日) 受付開始：午後4時 開会：午後4時30分
場所	吉見町フレサよしみ 会議室5番 吉見町大字中新井508 TEL：0493(53)1331
お問い合わせ	松坂よしひろ事務所 TEL：0493(81)7638 FAX：0493(81)7663



県政に 声が届く

今の県政を伝えたい

2/18(土) 県政報告会開催のご案内

新春の候、皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より松坂よしひろの政治活動に対しまして、多大なるご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さてこの度、大野元裕知事をお迎えして、第7回「県政報告会」を下記のとおり開催する運びとなりました。『安心・安全なまちづくり』『人口減少社会への対応』などを主なテーマとし、更に意見交換会も予定しております。

つきましては、時節柄ご多用のことと存じますが、皆様お誘い合わせの上、ご来席賜りますようご案内申し上げます。

日時	令和5年2月18日(土) 17時より (受付開始: 16時30分より)
場所	東松山市民文化センター(大ホール) 東松山市六軒町5-2 TEL: 0493(24)2011
お問い合わせ	松坂よしひろ事務所 TEL: 0493(81)7638 FAX: 0493(81)7663

